

# おじゃまします 青空カフェ

栄町立栄中学校職場体験

中学生広報NO. 2

取材日10月11日

NPO 法人ねむの里

NPO 法人ねむの里で今年4月にオープンした工房幹と、今年10月にオープンした青空カフェの取材に行きました。

まず、工房幹の給食を作っている小澤さんの話を聞きました。小澤さんは、【皆と働いていると楽しい】【赤ちゃんからお年寄りまで、異世代交流の場にしていきたい】【住宅地や、都会では味わえない風景の中でお茶をしていただきたい】と言っていました。作品を作っている吉井さんは、【メンバーと作業している時のコミュニケーションが面白い】と話してくれました。当日、工房幹では、牛乳パックの中心にある和紙のようなものを使ってサンタクロースを作る下準備していました。他にも、コースターや新聞紙を使って紙袋等を作っていました。中でもすごかったのは、メンバーで作った陶芸です。初めての人が作ったとは思えないほど上手です。他には、畑でジャガイモを作ったり、ビニールハウスでお花を作っています。ジャガイモは袋づめしてドラムの里で販売しているそうです。

工房幹や青空カフェを作った理由は、障害者の活躍の場を増やすためだそうです。

次に青空カフェを紹介します。青空カフェは工房幹の建物の外にあります。メニューは、豆腐プリンセットやおまんじゅうセットなど、その他たくさんのお菓子があります。特においしいのがおまんじゅうです。おまんじゅうは、皮がもちもちしていてあんこがきれいな人でも食べられるくらいおいしいです。青空カフェや工房幹は、都会では味わえない風景や建物です。のどかな田園風景の中で夕日や富士山を見ながら、おいしいお菓子を食べては足をはこんでみませんか？

工房幹 9:00~16:00 (月曜~土曜)

青空カフェ 11:00~15:00 (月曜~土曜)

ながと幼稚園から150mほどまっすぐ行った所



青空カフェ



メンバーが作った工芸品

取材担当:木崎【栄中2年】

どら豆畑で取材中



◆ 質問の仕方や人との接し方など2日間で沢山のことを学びました。(木崎貴博)

◆ 初めは緊張しましたがこの職場体験を通して仕事の大切さを学びました。(邊見拓哉)

栄中学校  
職場体験

10月11日(木)12日(金)栄町立栄中学校の2年生男子2名が支援センターで職場体験をしました。「支援センターだより」12月号の1面、3面を担当し、取材、撮影、原稿作り、パソコン入力などを行いました。

労力のいるどら豆の収穫体験やいろいろな人と接しながら取材する大変さと楽しさを実感できる機会だったと思います。『住民活動ふれあいまつり』の準備中で人の出入りの多い中、挨拶をきちんとしてくれてとても気持ちのいい2日間でした。今後町や住民活動に興味をもってくれることを期待します。木塚転作組合の皆さん、NPO 法人ねむの里の皆さんご協力ありがとうございました。